

「横浜市市民協働条例」3年ごとの振り返りについて

1 趣旨

令和元年度は、「横浜市市民協働条例」（以下、「条例」という。）の附則に基づき、3年ごとの条例の施行状況の振り返り（平成28年度から平成30年度）を行うこととなっています。

今年度は次のとおり振り返りを実施します。

2 振り返りについて

平成28年度 振り返り（H25年度～H27年度分） ※実施内容は裏面参照

【振り返りで見えた主な課題】

1 条例第10条の提案制度（市民発意）について、

- ・市民からの提案の件数が少なく、十分に活用されていない
- ・課題解決に積極的に取り組みたい市民に制度が認知されていない
- ・市民にとって提案しやすい環境が整っていない

2 協働契約（第12条）について、

- ・協働契約に対する、市民や市職員の理解が、十分には浸透していない
- ・協働契約の締結を通じ、市民と市が、協働の原則に沿ったより良いパートナーシップを築けるよう、実務的なサポートが必要である。



令和元年度 振り返り（H28年度～H30年度分）の概要

平成28年度の振り返りをもとに実施した取組内容を中心に、3年間の条例の施行状況について振り返り公表します。

○ つながりのまちづくりフォーラム（R1年冬頃）で報告

協働の実践を広めるために毎年開催している「つながりのまちづくりフォーラム」で、現在の協働の取り組みについて報告します。

- (1) 提案支援モデル事業（H29年度からR1年度）の取組状況等について
- (2) 協働・共創スキルアップ道場について
- (3) 令和元年度モデル事業採択3団体の中から取組状況報告 等

<参考> 平成28年度に実施した「横浜市市民協働条例の施行状況の振り返り」について

○ 条例施行後、初めての振り返りとして次の取組を実施しました。

